



主催：神戸大学 都市安全研究センター

共催：神戸大学減災デザインセンター、未来世紀都市学研究アライアンス
神戸市危機管理室、神戸市消防局

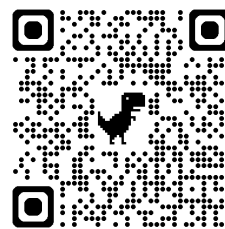
第 301 回 神戸大学都市安全研究センター RCUSS オープンゼミナール

日 時：2024 年 12 月 21 日（土）午前 10:30～12:00

開催型式：ハイブリッド型式（対面+オンライン）

開催場所：神戸市役所 4 号館（危機管理センター）1 階会議室

神戸市中央区江戸町 97-1 Tel. 078-322-5740



下記ページから、参加申し込み（ライブ動画視聴含む）を事前に行ってください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_95Ez2rzzQ16vD5fvO78YGw

司会：近藤 民代 神戸大学都市安全研究センター教授

主催：神戸大学都市安全研究センター

共催：神戸大学減災デザインセンター、未来世紀都市学研究アライアンス、
神戸市危機管理室、神戸市消防局

嶋崎 雅嘉

令和 6 年能登半島地震からの復興に関する検討状況の報告～液状化被害の大きい内灘町の状況～

アルパック（株）地域計画建築研究所 執行役員 生活デザイングループ グループマネージャー

【概要】

今年の元日に発生した能登半島地震から 1 年が経過しようとしているが、各地の復興スピードは遅れていると言わざるを得ない状況である。その中で、能登半島の入り口に位置する「内灘町」は、震源地から 100 キロ離れた位置であるものの、その地形や地質の特徴から地盤の液状化が発生し、大きな被害を被った。内灘町の液状化被害は側方流動を伴うものであり、敷地の不等沈下や家屋の傾斜などの被害だけでなく、地盤の大きな隆起・陥没、道路等のインフラへの被害、敷地境界のずれの発生など、今後の住宅再建などの復興事業の推進スピードにブレーキをかけてしまう状況がある。まだ、復興まちづくりは道半ばの段階であるが、復興に向けた検討状況と今後の推進に向けた課題点について報告する。

＜質疑の方法について＞

オープンゼミナールでは、講演による話題提供のあと、十分な時間をとって質疑を行い、研究や実践のありかたを市民の皆様とともに考える場としたいと考えています。会場での質疑を中心としますが、オンラインからの質問も時間に余裕があればお受けします。オンラインでの質問の方法は、zoom ウェビナー画面下にある Q&A に、①お名前、②お住いの地域・ご所属、③ご質問の内容、を書き込んでください。お寄せいただいた内容につきまして、ご所属・お名前、内容を読み上げて、お答えします。また、音声によるご発言をお願いする場合がありますので、その際はよろしく願いいたします。

【配布資料】：

2024 年 4 月より、RCUSS オープンゼミナール友の会（会員限定ページ）、

<https://rcuss.smoosy.atlas.jp/mypage> → 「オープンゼミナール資料-2024 年」に変更。

順次、配布資料等をアップしますので、ご参照ください。

開催記録】後日、下記にアップします。

【今後のオープンゼミナールの予定】

- 2025 年 1 月 11 日（土） 午後 13:00～17:00 は [第5回 震災復興・災害科学シンポジウム](#)を開催予定
- 2025 年 3 月 15 日（土） 午前 10 時 30 分～12 時

【ご案内】

RCUSS オープンゼミナールは、広く社会に神戸大学都市安全研究センターの活動を公開するとともに、関連する各分野の皆様からの報告を通じて、安全な社会としていくための研究や実践のあり方を議論しています。このオープンゼミナールには、大学の教職員・学生のほか、安全・安心に関心を持つ市民の方々や、コンサルタントなどの民間企業の方々、自治体の消防・建築・地域関係の職員の皆様などが参加されています。参加費は無料です。ご興味のある方は遠慮なくご参加ください。

【問合わせ先】

神戸大学都市安全研究センター(RCUSS)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL: 078-803-6437 (センター事務室)、FAX: 078-803-6394、

MAIL: rcuss-opensemi@research.kobe-u.ac.jp